

開きドア

DRZ・DKZシリーズ

取付け要領書

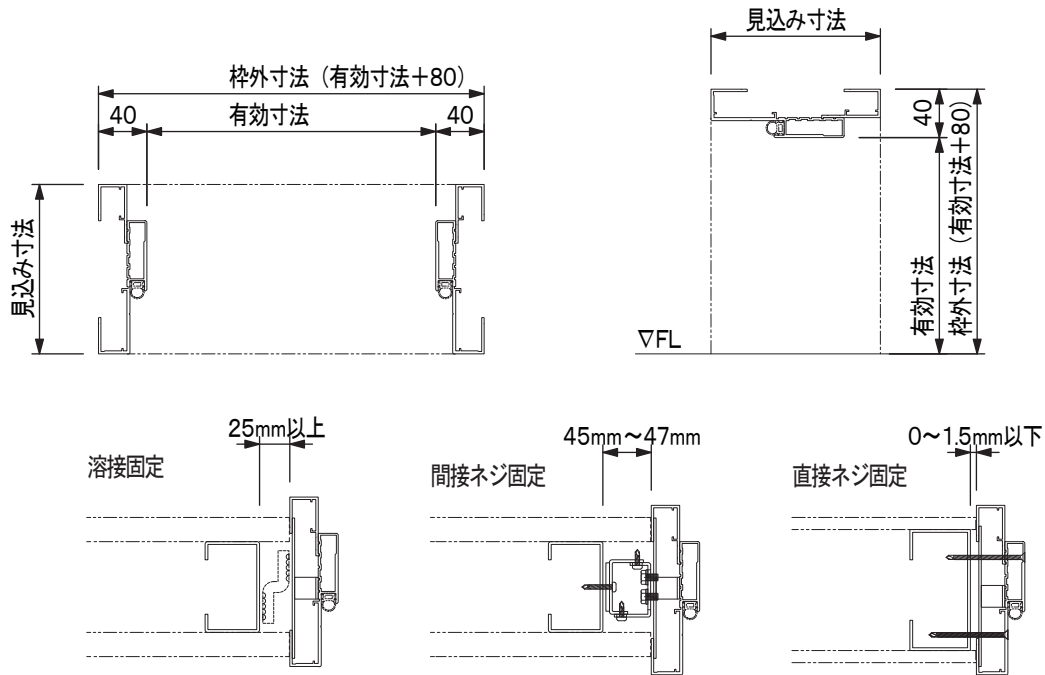
⚠ 注意事項

- ・ 施工する前のドアや枠材は直射日光の当たらない場所へ保管して下さい。保管の際には、長時間の横積み状態はなるべく避けてください。ドアが反ってしまう恐れがあります。
- ・ ドアに物を立て掛けたり、ドアと枠の間に物を入れたりしないでください。ケガをしたり、ドアに障害が発生する恐れがあります。
- ・ ハンドルにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険ですし、錠前が正常に機能しなくなる恐れがあります。
- ・ 錠前は分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことが出来なくなることがあります。
- ・ デッドボルトやロッド棒を出したままドアの開閉をしないでください。デッドボルトの突起が身体に当たる危険があるばかりでなく、ストライクや枠を傷めます。
- ・ ドアクローザは、ドアを自動的に閉じるためのもので、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。季節の温度変化等により、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなるとケガをすることがあります。ドアの閉じる速度は、調整弁によりコントロールすることができますので、調整してください。
- ・ ドアクローザは分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことが出来なくなります。
- ・ 掃除の際には柔らかい布やスポンジなどを使い、金属タワシや金ペラなどの使用は避けてください。
- ・ 金属ヘラやタワシなどで擦ると、表面のアルマイトが傷つき、腐食の原因になります。また、塩分・酸・アルカリなどが付着すると腐食の原因になりますので、すぐにふき取ってください。

00902-AKT-001-06
2023/05

はじめに

サンワイズアルミ可変枠シリーズの相対寸法は、下図のようになっています。

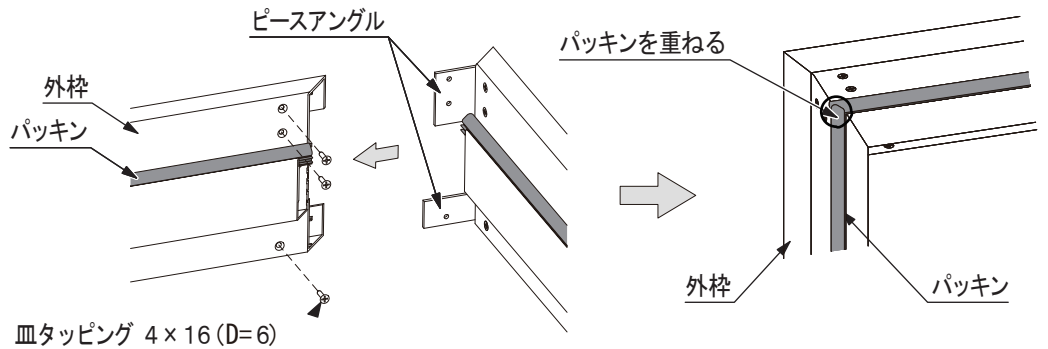


工事手順について

1. 開口部の確認

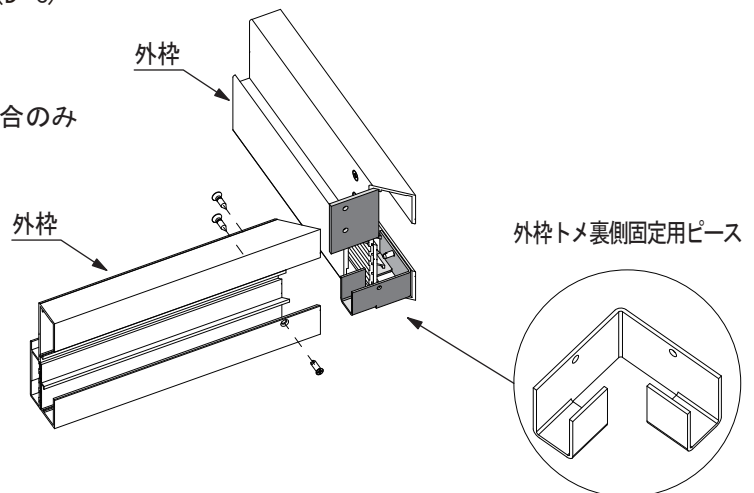
- ・開口部は、1.5mm以上の補強材が使われていることを確認してください。
- ・開口のW・H寸法と立ち、転びを確認してください。

2. 外枠の組み立て



- ・見込み寸法が110mmまたは120mmの場合のみ裏側固定用のピースを使用してください。

※ピースの下穴はネジを引っ張り込むよう若干斜めに入るようになっています。一度斜めに打った後でまっすぐ打ち直すときれいに固定できます。



次ページへ続く

工事手順について

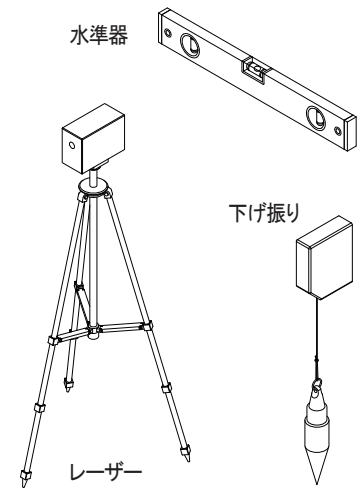
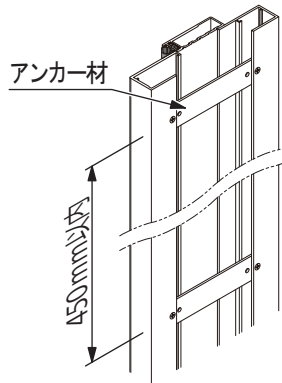
3. 開口部への取付け



建て付け調整は正確をお願いします。

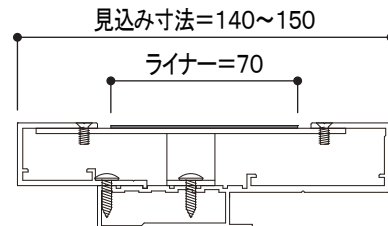
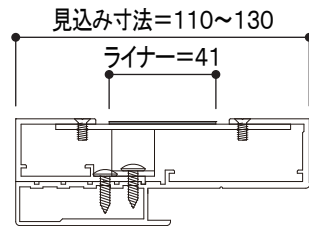
1) 溶接固定の場合

- ・外枠の裏側（背面）には、450mm以内のピッチでアンカー材が付いています。このピッチでも足りない場合は、スチール片などを使用して付け足して頂くか、販売元へお問い合わせください。
- ・開口部に外枠を納め、レーザーや下げ振り、水準器などを使って前後・左右の転び、水平を調整しながら、アンカー材のピッチにて溶接固定してください。

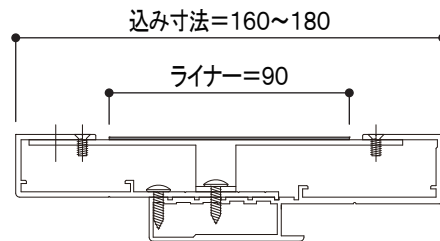


● 見込み寸法による3種類のライナーの使い分け

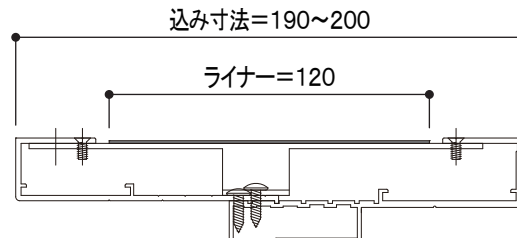
41 × 70mm



41 × 90mm



41 × 120mm

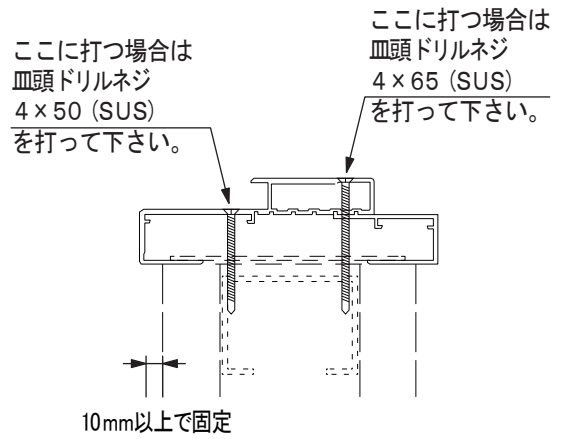


工事手順について

2) 直接ネジ固定の場合

- ・開口部に外枠を納め、レーザーや下げ振り、水準器などを使って前後・左右の転び、水平を調整しながら、外枠を開口部にはめてください。
- ・外枠と開口下地や補強材の隙間にライナーを入れ、付属の皿ドリルネジまたは皿木ネジで固定します。(ライナーを入れる位置は、外枠に予め開けてある穴位置周辺にしてください)

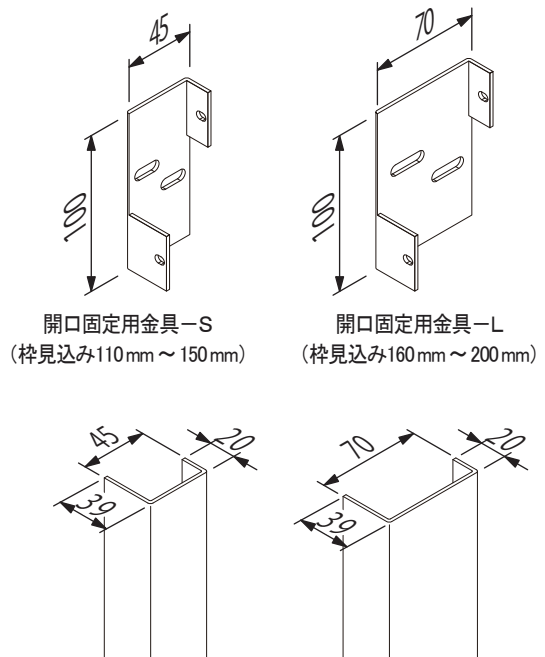
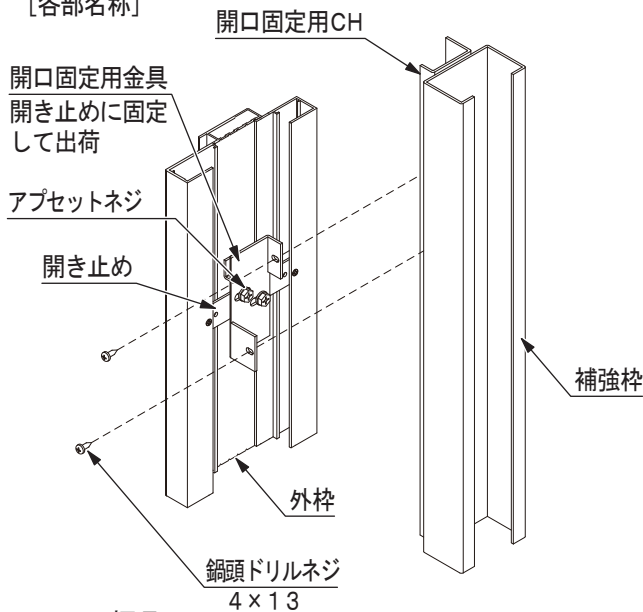
※外枠の前後方向の取付け位置は施工図等を参考にしてください。



同梱品	
	皿頭ドリルネジ 4×65(SUS)
	皿頭ドリルネジ 4×50(SUS)
又は	
	皿頭木ネジ 4×63
	調整ライナー(3種類) 41×70mm 41×90mm 41×120mm
※ 3種類すべてが同梱されている訳ではありません。 見込み寸法によって組み合わせが変わります。	

3) 間接ネジ固定の場合

[各部名称]



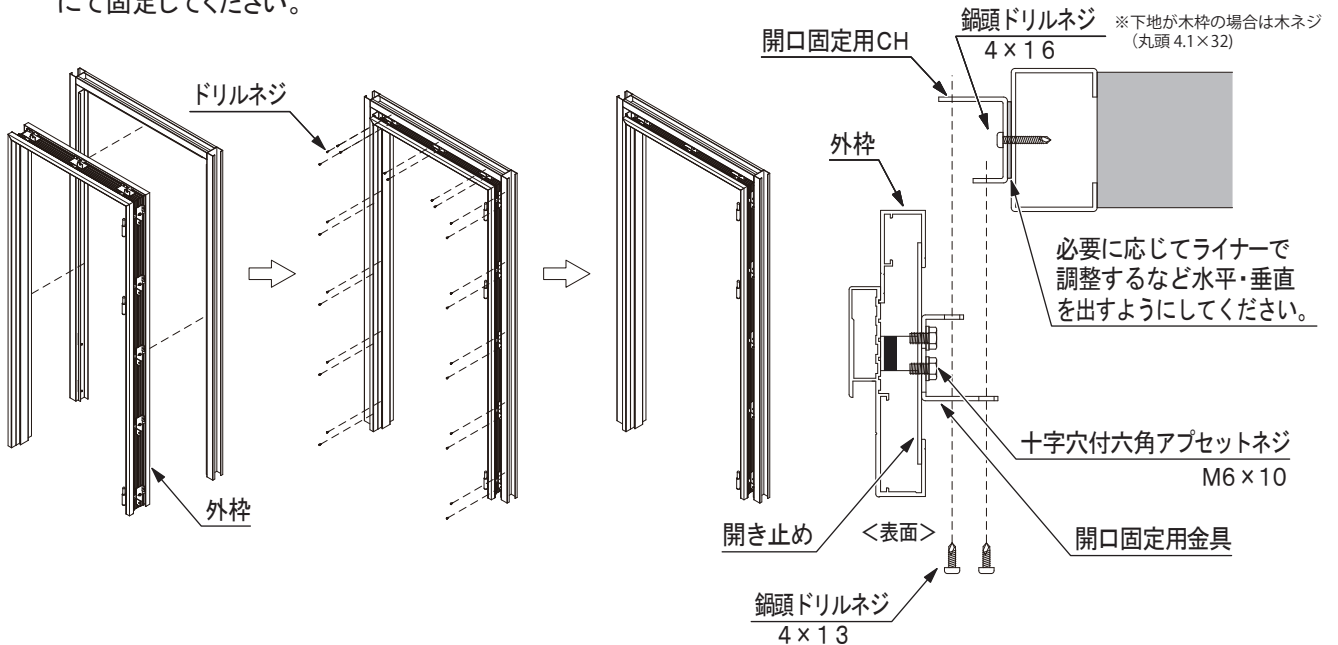
同梱品	
	鍋頭ドリルネジ 4×13(SUS)
	鍋頭ドリルネジ 4×16(SUS)
又は	
	丸頭木ネジ 4.1×32
	調整ライナー(3種類) 41×70mm 41×90mm 41×120mm
※ 3種類すべてが同梱されている訳ではありません。 見込み寸法によって組み合わせが変わります。	
	開口固定用CH

工事手順について

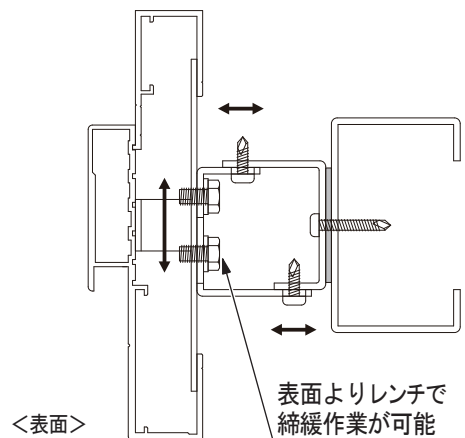
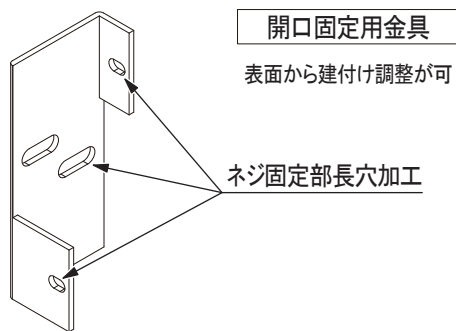
- ・開口部の立ち、転びをレーザーや下げ振り、水準器等にて確認し、開口補強枠に開口固定用CHを水平・垂直が出る様に付属のドリルネジにて固定してください。

※開口固定用CHの前後方向の取付け位置は、施工図等を参考にしてください。

- ・開口固定用CHに、開口固定金具のついた外枠を表側からあてがい、水平・垂直を確認して、付属のドリルネジにて固定してください。

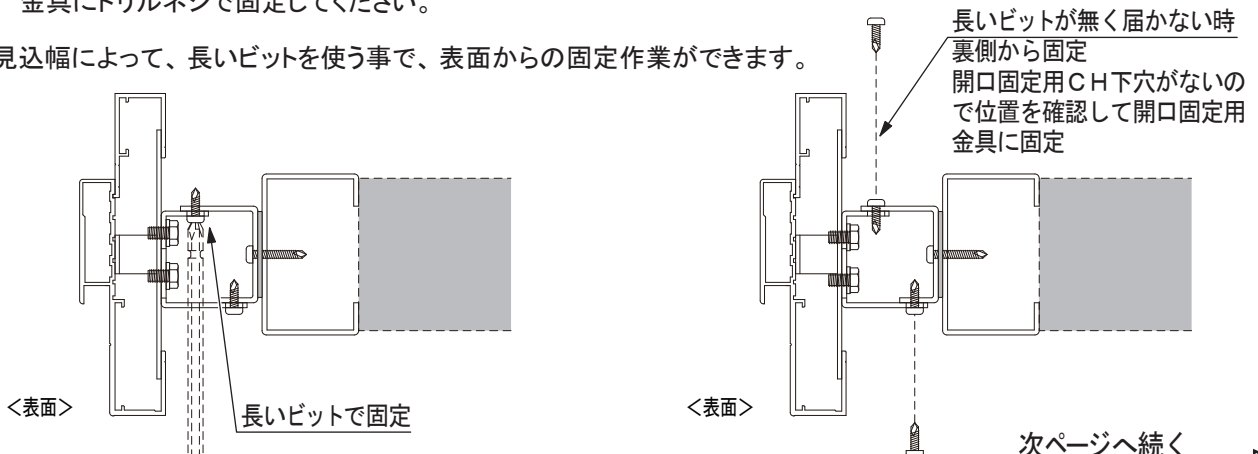


- ・開口固定用金具の下穴は長穴加工になっており、ネジを締緩することで建付け調整することができます。



※見込みの幅によっては長いビットを使うことで、表側からすべてのネジ固定作業ができますが、長いビットがなく、表側から届かない場合は、裏側からネジ固定することもできます。その場合は、開口固定用CHには下穴がありませんので、穴あけ位置を確認して開口固定用金具にドリルネジで固定してください。

見込幅によって、長いビットを使う事で、表面からの固定作業ができます。



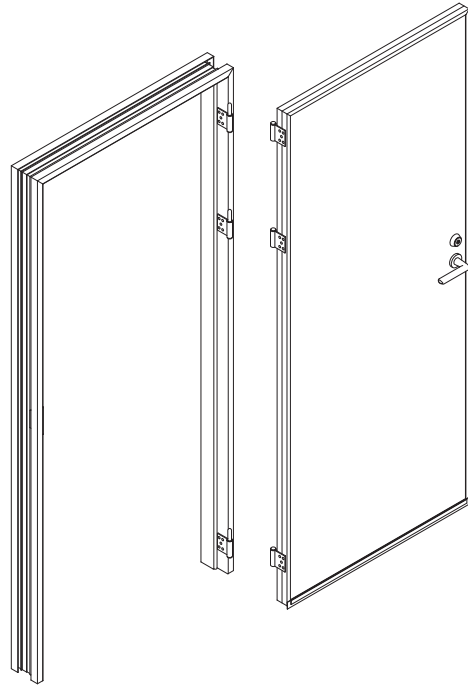
次ページへ続く

工事手順について

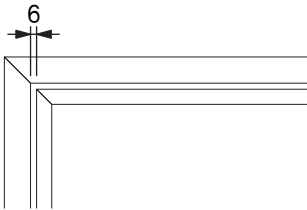
4. ドアの吊り込み

- ・扉を90°以上開いた状態で外枠側の丁番(オス)に扉側の丁番(メス)を引っ掛けるように扉を吊り込みます。
- ・次に、扉を閉めてチリ、パッキンの密着を確認してください。

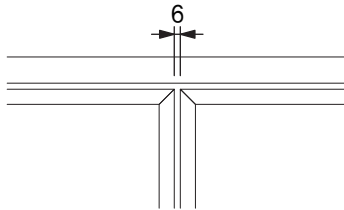
注意：ドアの吊り込み作業時は指を挟まないよう、注意して行ってください。



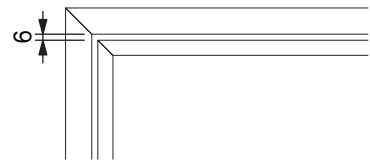
外枠と扉のチリ(縦方向)は6mmになるように丁番ライナーを使うなどして調整してください。



両開き中央のチリ(縦方向)は6mmになるように丁番ライナーを使うなどして調整してください。



外枠と扉のチリ(横方向)は丁番調整にて6mmになるように調整してください。

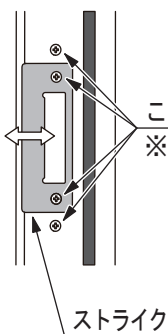


5. 調整

1) ストライクの調整

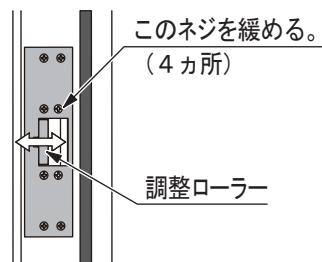
- ・図の箇所のネジを緩めて、ストライク・調整ローラーをスライドさせて調整する。

◎ レバーハンドル・丸ノブの時のストライク



このネジを緩める。⚠
※ このネジを緩める際は、完全には取外さないでください。少し緩めるだけでストライクは動きます。

◎ グレモンハンドルの時のストライク



このネジを緩める。
(4カ所)

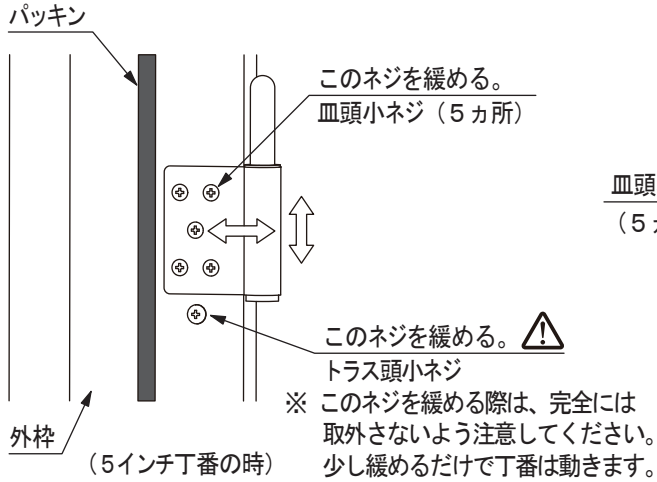
調整ローラー



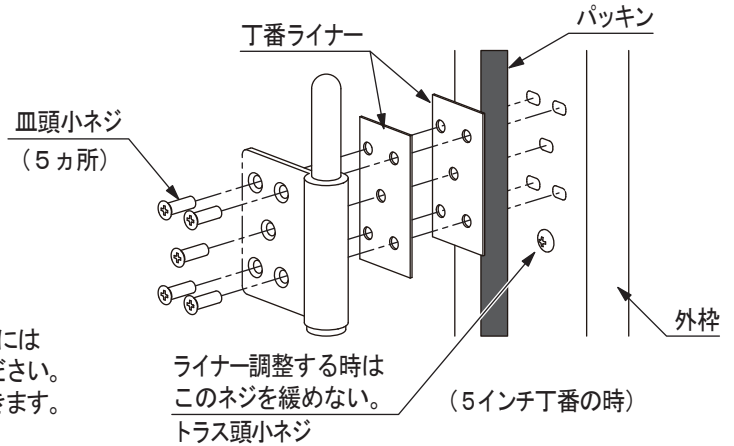
その他

2) 丁番の調整・丁番ライナーの調整

- ・図の箇所のネジを緩めて丁番の位置を調整する。

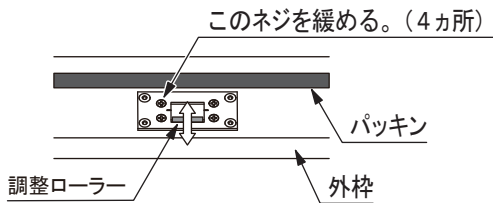


- ・図の様に丁番を外して丁番ライナーの枚数を減らす、または枚数を増やして丁番ライナーの枚数を調節することでドアの垂れの調整が出来ます。



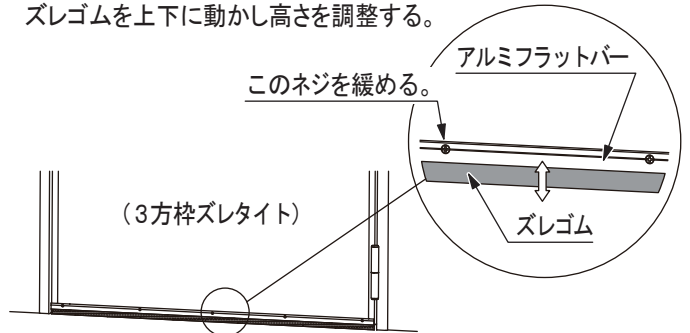
3) ローラー調整受けの調整 (グレモンハンドルの時)

- ・外枠上下枠に付いているローラー調整受けの、図の箇所のネジを緩めて、調整ローラーをスライドさせて調整する。



4) ズレゴムの調整 (3方枠ズレタイトの時)

- ・扉下部に付いているフラットバーの、図の箇所のネジを緩めて、ズレゴムを上下に動かし高さを調整する。



サンワイズ株式会社

〒424-0204 静岡県静岡市清水区おきつな興津中町848
TEL 054-360-3222 FAX 054-360-3227

URL <https://www.sunwizz.co.jp/>